

事務事業評価一覧(課別)

令和6年度

選挙管理委員会事務局

(単位:千円)

事務事業名 計:	決算額	改善方向性		シートNo.
	459	コスト	成果	
2280 選挙啓発事業	459	↓	→	621-01

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>	
近年、各選挙の投票率は低下しており、特に若年層の投票率は低い状況である。投票率向上のため、児童・生徒から新成人までの若年層及び全有権者を対象とした次の事業を行う。①児童・生徒を対象に、明るい選挙啓発ポスターの募集を行う。(6月)②定時登録時等において、新有権者へ啓発冊子等を配付する。(3月・6月・9月・12月)③各選挙時に投票を呼び掛ける街頭啓発活動を行う。	

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		498	459	471	【実績】 ①市内の児童・生徒143名から啓発ポスターの応募があった。 ②市内の新有権者へ啓発冊子等を1,277冊送付した。 ③県知事選挙及び衆議院議員総選挙時に街頭啓発の実施、選挙啓発チラシを各世帯へ配布、回収した。また、FMきりしまと連携し学生による選挙啓発用のラジオCMを作成した。 ④各学校において選挙出前授業や模擬投票、選挙機材の貸し出しを行った。 選挙出前授業⇒小学校1校 選挙機材貸出⇒中学校5校、高校1校、養護学校1校
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	【成果】 令和7年3月5日から3月16日までポスター展を開催し、多くの市民に対して選挙啓発ができた。チラシ配布及び街頭啓発では、理想とする社会やよりよい暮らしの実現に向けた有権者の役割・責任について啓発を行ったが、目標の投票率には届かなかった。出前授業では、選挙機材を用いた模擬投票を行うことで投票行動への意識向上につながった。また、FMきりしまと連携し作成した学生による選挙啓発用ラジオCMは、新聞報道でも紹介され広く選挙啓発を行うことができた。
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	498	459	471	

6. 評価結果＜(Action-PLAN)＞		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	有権者が自分が暮らしている地域のあり方や日本・世界の未来について考えることによって国家・社会の形成者として現在から未来を担っていくという精神を育み、投票を通じて社会参画につなげていくように啓発する。 特に新有権者への啓発をはじめ、投票率低下の最重要課題である若年層の選挙離れを防止するため、教育委員会や明るい選挙推進協議会など各種機関と連携を図りながら更なる選挙啓発に取り組む。
② コスト(予算)の方向性	↓ 縮小	